

膵疾患以外の病変に対する超音波内視鏡下穿刺生検における採取検体の肉眼的観察の有用性

1. 研究の対象

2020年4月1日～2021年9月30日の間に当院で膵以外の疾患に対して超音波内視鏡下穿刺生検を行った患者さん

2. 研究目的・方法

超音波内視鏡下穿刺生検(EUS-FNB)は腸管に隣接する臓器の組織を採取する際に用いられています。膵臓の病気に対する超音波内視鏡下穿刺生検では、採取された検体を肉眼で観察することにより、正診率や検体量の予測ができると報告されています。しかし、膵臓の病気以外に対する超音波内視鏡下穿刺生検において採取された検体の肉眼観察(MOSE)の有用性は証明されていません。今回の研究では、膵疾患以外のみに対するMOSEの有用性を過去の電子カルテの情報をもとに検証します。

研究期間は病院長承認日から2024年3月31日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：患者背景、超音波内視鏡下穿刺生検で得られた病理診断、最終診断

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：磐田市立総合病院 消化器内科 科長 金子淳一

電話：0538-38-5000